

「植樹ニューマット C-3」の難燃性試験

目的：植樹ニューマット C-3 の難燃性を実証する。

想定状況：一般的な植樹ニューマット C-3 敷設後状況において、表面に枯葉が降り積もり、その枯葉が火の着いたタバコの投げ捨てにより、着火したと想定した実験である。

方法：植樹ニューマット C-3 試験片の上部に枯葉 150g を置き、バーナー炎で着火する。
着火から自然鎮火までの5分間を目視にて経過観察、及び鎮火後の植樹ニューマット C-3 の延焼状況や融解状況を目視にて測定する。

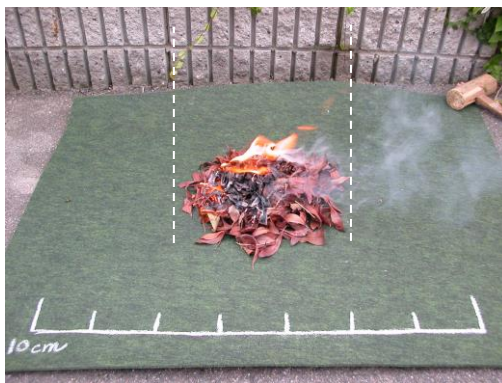
① 表面 枯葉 150g設置状況
円φ30cm内外



② 表面 枯葉 150gをバーナー炎にて着火



③ 表面 枯葉 150g延焼中
2分経過状況



④ 表面 枯葉 150g延焼中
3分経過状況



⑤ 表面 枯葉 150g延焼中
4分経過状況



⑥ 表面 枯葉 150g自然鎮火
5分経過状況



⑦ 表面 枯葉 150g 完全鎮火後状況
延焼した枯葉 150gの置いた場所
以外への延焼・融解は見受けられない。



⑧ 表面 延焼済み枯葉除去後
30分後状況
枯葉 150gを置いた場所のみ融解
している。それ以上の延焼・融解
は見受けられない。



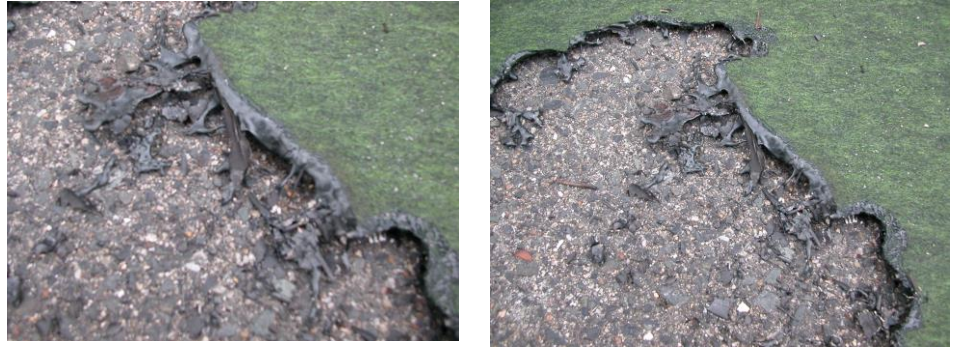
 谷口産業株式会社

〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町 8-3
TEL072-432-1828 FAX072-432-1838



⑨ 融解状況

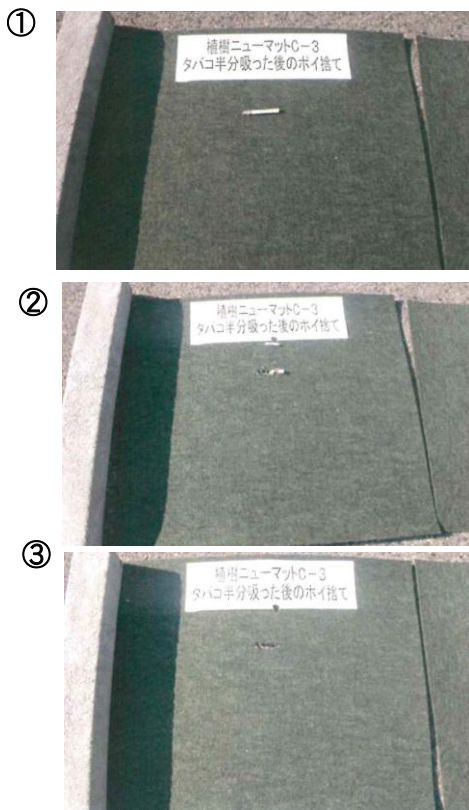
炎が当たっていた部分のみ
融解し、炭化しているのみ
である。



検証結果：枯葉 150gをバーナー炎にて着火し、5分後の自然鎮火に至るまで、植樹ニューマット C-3 の延焼は見受けられなかった。試験において、枯葉 150gを置いた箇所から融解部分が広がっていないことは明白である。また、植樹ニューマット C-3 が、延焼していないことも、延焼後の枯葉を除去後の植樹ニューマットの融解部分が広がっていないことが証明している。

よって、植樹ニューマット C-3 は、当該状況に置いては十分な難燃性を有していると証明できる。

その他検証：タバコのポイ捨てによるマットの難燃性



①タバコのポイ捨て難燃試験開始

タバコを半分吸ってポイ捨てされた場合、
マットの難燃性を自社にて測定

②数分後タバコが消火

タバコが消火されるまでの間、炎が出ている
のは全く確認されなかった

③消火したタバコを撤去

焦げて穴が開く程度で収まっている
(タバコ程度では焦げ広がらない)

検証結果：マットの上にタバコのポイ捨てをされた場合、焦げて穴は開く事はあるが、炎が出る事はない。
(自社試験及び実績より)

※植樹ニューマットC-3は、
(財)日本防災協会 防災物品の防災性能試験
(45° エアーミックスバーナー法)を行っております。

品質管理等に係る試験結果表

株式会社 谷口産業

〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町 8-3

TEL072-432-1828 FAX072-432-1838

試験項目：45°エアーミックスバーナー法による難燃性試験

試験項目	規格	結果	備考
難燃性	45°エアーミックスバーナー法	合格	
燃焼時間	10分以内	10分以内	
炎の出る回数	0回	0回	
穴の開く箇所	0箇所	0箇所	

試験結果：合格

